

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年8月13日掲載

3年2組 荒木 泰斗

「部活で学んだ人間性生かす」

僕は、この2年半の間にたくさんの喜びとたくさんの悲しみを味わってきました。朝は早く起きて朝練を毎日ひたむきに頑張ってきました。夕方の部活動では、県の高いレベルを基準にするために、自分たちの中で声を出し合い、毎日練習に打ち込みました。

そんな中、今年は「コロナ」の感染拡大を防ぐために中体連大会が中止という結果になりました。しかし、天草のサッカー部の先生方のどうしても3年生に試合をさせたいという思いから、中体連の代替大会が開催され、感染予防策や熱中症予防策などの複数の対策がある中で行われました。

でも、サッカーができる喜び、こんな状況でも大会を企画してくださった方々への感謝、今まで応援してくれた家族や保護者への恩返しができる場をもらったので、ルールをしっかりと守って大会に挑みました。大会では、自分の納得のいくプレーをしっかりと表現できて、チームの勝利に貢献することができました。

結果としては準優勝という一番悔しい結果で終わってしまったけれど、個人としてもチームとしてもプレー以外の面の礼儀や仲間との協力、感謝の心をもつなど部活に入らないと体感できないたくさんのことを学ばせてもらいました。

だから僕は、この部活動で学んだ「人間性」をこれからの人生にしっかりと生かしていきたいと思いました。